

日時： R6 年 8 月 25 日（日）13 時半～14 時半
場所： 川地コミュニティ 2 階大会議室
出席者数： 約 50 名（大坪常会員を含む）
配布資料： 中の村当屋寄り（議案書）、当屋請儀式役割表、
収支予算書

1. 開会

中田常会長：皆さんこんにちは。本日はお暑い中またお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、令和 6 年志賀神社秋季例大祭中の村当屋寄りを開催します。私は大迫慕常会の中田と申します。本日の司会を務めさせていただきます。何分初めての経験なので至らぬ点が多々あると思いますがご容赦ください。ではよろしくお願ひします。

2. 挨拶

末國当屋行事総頭領：紹介をいただいた末國です。このたび行事総頭領という大役をいただきました。これを務めていきたいと思っています。私事ですがこちらに住み始めて 12 年ということで、祭りの本当屋、当屋をまともにやったことが無いものですから一生懸命努めていきたいと思っています。コロナのせいで今年は 5 年ぶりに奉納行事をやることになっています。ただ、従来と違うところが 2 つあります。1 つは芸能伝統保存会ができて六神儀、神輿、獅子舞を保存会がやっていただくことになりました。それから大坪本当屋では神楽団の招聘を止めた、この二つが大きな変更点です。それ以外は今までと全く変わらない。今までと同じようにやろうと努力してきた。そうはいっても社会情勢がだいぶ変わっております。結果的に令和 6 年度の例大祭奉納行事は、曲がり角になるかもしれません。神社本庁のホームページに例大祭とは神様を喜ばすことと書いてあります。中の村当屋、大坪本当屋においては、神様に喜んでもらえるよう、ひいては氏子の皆さんが喜んでもらえるよう伝統にしたがった奉納行事とその準備に努めてまいりたいと思っています。中の村当屋の皆さん、各常会長の皆さん、各常会の皆さんには、この奉納行事をやることについていろいろお願いをすることになると思います。是非ともご協力をいただくことをお願いして挨拶といたします。

3. 議題

（1）本当屋役員及び奉仕役割の紹介

成清総代：資料に沿って役員と役割表の担当者を紹介した。

中田常会長：この役割表に関して、ここで質疑に入りたいと思います。挙手の上で質問をお願いします。

児玉（政）：前夜祭と大祭の神事には司会者が要る。神前書記が司会をするのか。司会をするのであれば、神前書記の人が境内で花を集めることはできないのではないか。

末國：神前書記が司会をする予定。2 人いるので一方は必ず残って司会をする。

児玉（政）：お旅をするときには警察の道路使用許可が要るし行列に警察が同行する。

成清：承知しています。

多田総代長：役割表の一番下の「旗・槍・長刀持ち」は、年寄りにやってもらおうというのが趣旨なので無理なら省いてもらって構わない。これは宮司と話した中での意見

(13:50)

(2) 秋季例大祭の開催日程について

(3) 当屋寄り以降の日程について

本当屋（大坪常会）関係

中の村当屋関係

成清総代：資料に沿って読み上げて説明

中田常会長：以上について質問はありませんか。

河野（獅子舞師匠）：獅子頭を大坪集会所で保管するとのことだが、5日からの練習で使いたいのでコミュニティセンターに置いていただきたい。

成清総代：前川さんいいですか。了解しました。箱ごと玄関の入口のところに置いておきます。

(13:57)

(4) 楽打ちの練習開始日（案）

成清総代：この日程は案です。10月5、6日は青河の祭りで、太鼓を青河から借りることにしているので送れるかもしれない。はっきりしたら連絡します。

(5) 芸能保存会の練習日程等について

成清総代：資料を読み上げて説明。本当屋による賄いは無いので保存会の方で対応していただきたい。それからお願いですが、本当屋と保存会の師匠さんとの打合せが要るのではないかと考えています。都合が良い日程を示していただきたい。

河野（獅子舞師匠）：夕方7時以降なら。

末國：神楽団を呼ばないので、部隊の照明などを本当屋で用意するつもり。それで特に六神儀の担当の方は舞台をどうするのかという打合せをさせていただきたい。

大倉（六神儀師匠）：神楽団が居たから照明などは何十年も考える必要が無かった。自前の幕などは無い。あり合わせでやるしかない。

神降ろしの飾りも神楽団が用意した。作る必要があるかもしれない。幕も後が丸見えでは都合が悪い。

多田総代長：昔あった幕はボロボロになった。神楽団の幕を借りていたのが実態。その時でも後ろの幕は寒さ除けのブルーシートを張っていた。六神儀に使う幕は神社の引幕で代用してもらうしかない。何年か前に作ったがあるので、後は行けると思うが、正面と左右はちょっとよく分からない。今日、保存会の人と神社に上がったがそこまでは見ていない。紅白幕があるのでそれを代用することもできる。

(6) 前夜祭、大祭の日程概略

成清総代：資料を読み上げて説明。

大倉（六神儀師匠）：金の御幣が大坪集会所ということだが、窓はあるのか。玉切りがある。

成清総代：集会所以内のテーブルなどを撤去してそこで舞ってもらうことを考えている。

大倉（六神儀師匠）：（集会所以内での神事に関する場所的な制約の有無を確認する発言があった。神事用語なので理解不可）一度見させてもらう。

(14:20)

「後の方が聞こえにくい」との発言あり。

(7) 当屋費用について

成清総代：(資料に基づく説明) 予算書を付けている(以下、予算書について説明)。

ただ、支出額をかなり抑えて見積もりしているので突発的な支出などいろいろ想定できるので、予算書どおりというのは難しいとは思っている。

大倉(六神儀師匠)：六神儀の衣装のクリーニング代が結構かかる。これを10万円の中で見るという話なのか。我々は地域の町おこしという視点で若い者が集まってやることにした。クリーニング代も保存会で負担しろということであれば難しい。これをどこで捻出していくのかということが明らかになっていないと今後を含めて取り組めない。

末國：六神儀の衣装は、見積もりに含まれていない。どれくらいかかるのか。

大倉(六神儀師匠)：よく分からない。

末國：本当屋と保存会の関係は、できたばかりなので未知数。話し合いをさせてもらって経費を詰めていく必要がある。大倉さんがなぜ我々が全部負担するのかということは理解できる。

成清総代：当初は、クリーニング代も保存会という考えがあった。ただ、厳しいようであれば打ち合わせをしながら解決していく必要がある。

大倉(六神儀師匠)：神楽団は、いろんな所に出て、本人さん達の日当は無いが維持するための費用を手当てすることはできている。保存会は地域の町おこしなので自分たちで手当てすることは難しい。今回だけではなく、来年も再来年もあるので話をさせてもらって解決していきたい。

(8) 当屋請儀式役割のお願い

成清総代：役割表を説明したが、まだ決まっていない役がある。特に胴打ちは、希望の20人まではまだまだ足りない。中の村の子供の数は16人しかいないので、他の当屋にお願いしないと人数が足りない。27日に市場常会のアンケートが出たら、各常会長さんに個別に具体的にお願いしようと考えている。

(9) 前夜祭の余興奉納神楽について

成清総代：とても神楽を呼べるような状況では無いと考えている。

中田常会長：議事の説明が終わりました。全体を通しての質問がありますか。

犬石常会長：奉仕役割がそろっていない役は、常会長に役名と人数を示して手当てするよう連絡があるということだが、受ける私自身が受ける役割の中身が分かっていない。

川本常会長：今日これが終わったら常会長だけが残って役割の打合せをしたらどうか。

成清総代：分かりました。各常会長さんは役割の打ち合わせをしたいので残ってください。

花については、従来どおり個人花は総花にするのでよろしくお願いします。

児玉(政)：花は個人花は総花と聞いたが、保存会とそれ以外とに分けるのか。

成清総代：保存会は保存会で扱います。これまでも六神儀様とかあって、それは六神儀側に渡してきた。

米澤：小太鼓奉仕者とかあるが、これは何をすればよいのか。

多田総代長：昨年度、各氏子さんあてに神社からピンクのファイルを配った。その中に例大祭の各役割について書いてある。それを見てももらえればある程度分かると思う。小太鼓は、抜き打ちをするときに1歳か2歳の子供が出てもらうもの。

中田常会長：皆様、ほかに質問はありませんか。それでは今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。これをもって令和6年志賀神社秋季例大祭中の村当屋寄りを閉会いたします。皆さんご苦労様でした。

(14:30)

本当屋役員と各常会長の打ち合わせ

14:40～15時過ぎまで開催し、決まっていない役割について各常会長さんに先行し9月10日までに成清総代に回答するよう依頼した。結果は以下のとおり。

No.16（巫女の舞）	2名選出の見込みあり（成清総代）
No.21（神前御料具運搬奉仕者）	小松木 明氏を追加、他に駅組と木舟から各1名
No.25（御旅道路しめ縄張奉仕者）	駅組、市場常会より各1名
No.28（白酒配り奉仕者）	米澤美佐子氏を追加
No.31（御座（こも）持ち奉仕者）	駅組、市場常会より各1名
No.32（楽打頭領）	駅組より1名
No.35（鐘打ち奉仕者）	駅組、市場常会より各1名
No.36（扇輪切り奉仕者）	木舟、市場常会より各1名
No.37（鉈胴担ぎ奉仕者）	駅組、市場常会より各1名
No.38（鉈胴打ち奉仕者）	市場常会より1名
No.40（手拍子奉仕者）	駅組、市場常会より各1名
No.41（旗・槍・長刀持ち奉仕者）	省略（配置しない）